

オプト、OpenDPF 構想を実現するプラットフォームのブランド名称を

「Xrost」に決定

～ 各社の SSP・DSP と連携し、オーディエンスデータ活用を促進～

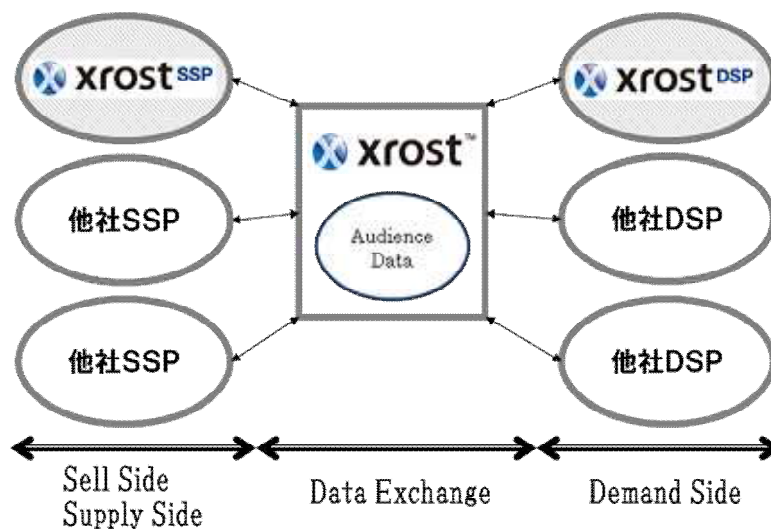
株式会社オプト（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：鉢嶺 登、証券コード 2389、以下オプト）は、今夏より提唱している「OpenDPF 構想」を実現するプラットフォームのブランド名称を「Xrost」（クロスト）に決定しました。

「Xrost」では、SSP・DSP を接続することにより、オーディエンスデータを活用した広告枠収益最大化や広告出稿管理が可能となります。まずは、自社にて 12 月 9 日より「Xrost SSP」（クロスト エスエスピー）の稼働を開始し、次いで「Xrost DSP」（クロスト ディーエスピー）を来春リリースする予定です。また、他社の提供するシステムとも随時連携を図り、開かれたデータプラットフォーム（＝OpenDPF）の構築を目指します。

【オープンデータプラットフォーム「Xrost」(<http://www.xrost.ne.jp/>)】

「Xrost」は、広告主・媒体社・データプロバイダーのオーディエンスデータ活用を促進する、オープンなデータプラットフォームです。

■ 「Xrost」連携イメージ



■ SSP とは

Sell Side Platform もしくは Supply Side Platform の略称で、媒体社（配信パートナー）が広告枠収益の最大化のために利用するシステムです。

➤ オプトの提供する SSP — 「Xrost SSP」



■ DSP とは

Demand Side Platform の略称で、広告主や代理店がオーディエンスターゲティング広告の出稿管理のために利用するシステムです。

➤ オプトの提供する DSP — 「Xrost DSP」（ 来春リリース予定）



【新ブランド名「Xrost」について】



「Xrost」とは、「OpenDPF 構想」に基づいたシステムを総称したブランド名です。

“cross story” —オーディエンスデータ（=story）を共通化（=cross）し新たなストーリーを描くきっかけとなる、様々なパートナーとマーケティングデータを連携させる交差点となる、との想いを込めた名称です。

今後、「OpenDPF 構想」に紐づくシステムについては、「Xrost」ブランドにて提供していきます。

【OpenDPF（オープンデータプラットフォーム）構想とは】

OpenDPF 構想とは、米国で急速に普及し始めている、オーディエンスターゲティングという概念に基づき、“インターネット上のオーディエンスに関わるマーケティングデータを共通化し、日本初のオープンなプラットフォームとして、各種マーケティングツールやアドネットワークなど様々なパートナーとデータ連携を実現する”ものです。

これにより、インターネット広告を「広告枠（スペース）」だけで捉えるのではなく、「利用者（オーディエンス）」で捉えるという発想を実現し、最適なユーザーに最適な広告を提供するこ



PRESS RELEASE

とが可能となります。

尚、オーディエンスデータの運用にあたっては、総務省の「利用者視点を踏まえたＩＣＴサービスに係る諸問題に関する研究会」によって策定された「事業者に一定の配慮を求める原則集（配慮原則）」（http://www.soumu.go.jp/main_content/000067551.pdf）に基づいてポリシーを定め、利用者の安全性確保に対する措置を行っております。

以上

〔株式会社オプトについて〕

オプトはお客様のインターネット上でのマーケティング活動をお手伝いする「e マーケティングカンパニー」です。「売上に直結するe マーケティング」をコンセプトに、お客様のマーケティングROI（費用対効果）を最大化します。

URL <http://www.opt.ne.jp/>

〔本件に関するお問合せ先〕

提携に関するお問い合わせ

株式会社オプト データプラットフォーム本部 竹本・山岡

TEL) 03-3219-7107

報道に関するお問い合わせ

株式会社オプト 広報担当 中山

TEL) 03-3219-7655